



愛知環境カウンセラー協会報

2025 年度通常総会の報告

会長 齊藤 保彦

5 月 18 日（日）愛知県産業労働センター（ウインクあいち）において、2025 年度通常総会が開催されました。出席者は、45 名（会場出席 18 名、書面等表決 22 名、委任状提出 5 名）＜※会員数 71 名（2025 年 5 月 18 日現在）＞でした。

来賓として、環境省中部地方環境事務所（現環境省参与）：小森 繁 所長、愛知県環境局環境政策部：成瀬 靖朗 環境進課主査、名古屋市環境局環境企画部：堀田 裕之 環境企画課長にご臨席賜り、それぞれご挨拶をいただきました。

第 1 部の講演では、環境省中部地方環境事務所：小森所長より、『環境危機の時代における地域環境政策と担い手～愛知環境カウンセラー協会報第 100 号を読みながら～』と題し、今までの行政経験を踏まえてお話ししていただきました。

講演の概要は以下のとおりです。

環境基本計画策定から 30 年が経過し、環境政策は全国各地域に展開され、民間活動も成熟して、今や地域循環共生のステージに入った、との説明があり、「個人の試論です」と断りながら、「地域共進化を考えてみませんか」との提案がありました。小森所長は、中部地域の各地を歩いて多くの担い手と出会われたそうで、最後に、「環境カウンセラーは環境・地域を支える人材の宝庫」とのエールをいただきました。

第 2 部の議事では、1)定款の改正について、2)2024 年度事業報告、3)2024 年度収支決算報告、4)2025・2026

年度役員（理事及び監事）選任の件 についての審議・議決、2025 年度事業計画及び予算計画の報告がありました。定款の改正については、「会員数が近年減少している背景もあり、「愛知県在住もしくは勤務地が愛知県内であること」という正会員の条件を廃し、地域を限定せず広範囲に会員を求めることで、組織の持続可能な発展の一助にするため」とした改正理由が説明されました。事業報告では、愛知環境カウンセラー協会（AECA）として、各種行政関連のイベント等への参加を通じて環境カウンセラー登録制度や、AECA の活動についてアピールを心がけてきたことが報告されました。

具体的には、協会内での自己研鑽・情報交換として、ファラデー勉強会、施設見学、会報の発行、AECA ニュースの配信等につきましては例年同様に実施することができたとの報告がありました。また、「エコアクション 21（EA21）地域事務局あいち」の運營業務につきましても、EA21 認証登録関連業務や EA21 の普及促進活動を引き続き実施した旨の報告がありました。

また、「環境教育に係る普及啓発事業」として、2 回目となる「環境教育インストラクター応募資格取得セミナー」を実施した旨の報告もありました。

今年は役員改選の年であり、新規理事及び監事の候補者、退任理事及び監事が示されました。

議案に対する議決結果としては、上記 1)～4)について、全て議決承認されました。

役員の異動等

会長 齊藤 保彦

役員の異動

5 月 18 日開催の通常総会での議決承認を受け、5 月 31 日付けで山川幹子さんが監事を退任されました（山川さんは、本年 7 月に逝去）。

同じく通常総会での議決承認を受け、6 月 1 日付で新理事として伊藤昭彦さん、行本正雄さんの 2 名、新監事（再任）として中島国輔さんが就任され

ました（中島さんは、5 月 31 日付で顧問を退任）。

顧問、相談役の委嘱

顧問につきましては、井上祥一郎さん、鬼頭正克さんの 2 名に引き続き委嘱しました。

相談役につきましては、稲垣隆司さん、竹内恒夫さんの 2 名に引き続き委嘱しました。

新任理事の紹介

伊藤 昭彦

私は「水と環境に関するコンサルタント」に半世紀勤務しました。下水道全般の計画、調査、設計に従事して 2024 年 12 月末に退職しました。

在職中より「環境」に寄与すべく 2019 年より愛知県地球温暖化防止活動推進員として次世代を担う子どもたちに地球温暖化防止や省エネなどを「ストップ温暖化教室」にて講義しています。

新たに当協会の理事となりました行本正雄と申します。私は春日井市にキャンパスがある中部大学を令和 6 年 3 月末に退職し、現在は名誉教授、非常勤講師として週 2 コマの講義を担当しております。加えて、令和 7 年 7 月から春日井市商工業振興審議会委員（会長）に再任され、産業振興アクションプランを進めています。

2023 年環境カウンセラー（市民部門）に登録して当協会に入会しました。この度、当協会の理事を拝命しました。当協会の皆さまとの交流を介して様々なことに挑戦し、環境保全活動の幅を広げていきたいと思えます。当協会のお役に立てるよう精励しますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

行本 正雄

また、技術士の資格を生かした学協会等での講演活動や 10 月から多治見市の廃棄物減量等推進審議会委員を務めます。私は廃棄物処理・リサイクル分野の専門知識を生かした環境カウンセラー活動を積極的に進め、会員の皆さまと協力し、協会の発展に寄与したいと考えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ECU 通常総会についての報告

齊藤 保彦

今年度の通常総会は、6 月 28 日（土）、昨年度に引き続き Web 通信会議方式により開催されました。

・審議事項

- 1) 令和 6 年度事業報告、2) 令和 6 年度収支決算
- 3) 令和 7 年度事業計画(案)、4) 令和 7 年度収支予算(案)、5) 役員交代

審議事項 1)～5)については、全て賛成多数で可決承認されました。

○環境カウンセラー全国事務局業務について

令和 7 年度環境カウンセラー登録制度運用等業務（全国事務局業務）について、総合評価落札方式による競争入札において、昨年度に引き続き ECU が業務を受託したことが報告されました。

昨年度の全国事務局の業務では、環境省からの連絡や

登録の変更、更新及び活動報告書の受付、問い合わせ対応など、広範囲な対応を行ったことが報告されました。特にクレームには苦慮し、様々な対策を講じることでカスタマーハラスメント減少を図ったことも報告されました。

○環境カウンセラー研修業務、表環境カウンセラー表彰業務

令和 6 年度は初めて表彰式と対面研修を開催し（令和 7 年 2 月 1 日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて）、参加者から好評だったことが報告されました。

また、環境カウンセラーに登録されて 3 年未満の環境カウンセラー向けに、オンラインで新人研修が 3 回実施されたことも報告されました。

表彰を受けた会員の紹介

齊藤 保彦

令和 7 年度の愛知県・環境保全関係功労者表彰を受けた当協会会員を、以下に紹介します。

「環境保全推進功労」（長年にわたり愛知県の環境保全行政の推進に寄与し顕著な功績をあげた個人）

○小池貴司 氏：地球温暖化防止活動推進員として、ストップ温暖化教室の講師、各種イベントでの啓発等に長年従事された。

※愛知県・環境保全関係功労者表彰：愛知県では、県

民の環境保全意識の高揚を図り、快適な生活環境の保全に資することを目的として、県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体に対して、その功績をたたえ、1989 年度から毎年度、知事による表彰を

行っています。本年度は1 団体及び 27 名が、6 月 10 日（火）に愛知県庁本庁舎の正庁で表彰を受けられました。

環境保全関係功労者表彰を受賞して

小池 貴司

この度、愛知県知事より、環境保全関係功労者表彰を受けることができ、大変光栄に思っております。地球温暖化防止活動推進員として未来を担う子供たちに地球温暖化について楽しく学んでもらうため、県内小学校を訪問し、出前授業を実施してきました。地球温暖化の仕組みやその影響を分かりやすく解説するため、火力発電所で使われている石炭や海水温上昇の影響を受けて白化するサンゴの見本、楽しいクイズを取り入れるなどし

ています。また、火力発電実験では発電所から家庭に届く電気の旅を説明するため「電気の道ジオラマ」を作りました。私たちが住んでいる地球の温暖化を防ぐにはどのような方法があるかを考え、児童一人ひとりの省エネ行動の実践に結びつけています。この表彰を励みに、今後も持続可能な社会の実現を目指し、未来の世代へ豊かな自然環境を引き継ぐべく、より一層環境保全活動に尽力して参ります。

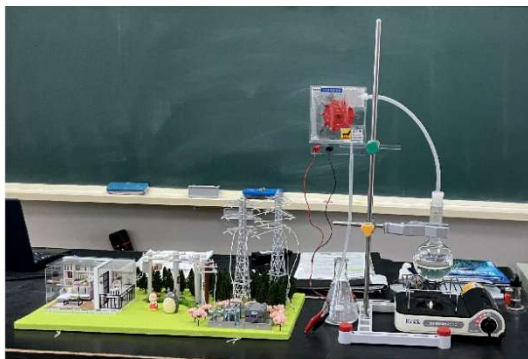


写真-1 火力発電実験器具



写真-2 環境保全関係功労者表彰式
左から大村知事、本人、川嶋県議会議長

2025 年度 環境教育インストラクター・フォローアップ研修実施報告

多賀 吉令

2025 年 7 月 26 日（土）13 時より名古屋市港区環境省 稲永ビジターセンターで環境教育インストラクター・フォローアップ研修を開催しました。令和 4 年度と 6 年度と 2 回の環境教育インストラクター応募資格セミナーを開催し、十数名の方に環境省インストラクター認定に登録していただきました。今回は登録いただいている方々を対象にフォローアップ研修会を AECA（愛知環境カウンセラー協会）が主管となり開催しました。研修のテーマは第 6 次環境基本計画を踏まえ自然資本充実と環境価値を通じた「新たな成長」による「ウェルビーイング/高い生活の質」の充実をテーマとして実施しました。今回の受講生は愛知近県からの方々が多く地域、企業で環境教育を実践している方 7 名が参加、講義とワークショップを通して環境問題を広範囲にかつ多角的にとらえる視点を養いました。今回の特色は他の受講生の励みになるよう受講生にも事例発表として講師になっていただく機会を作りました。



写真-1 講義

はじめに基調講演として環境省中部地方環境事務所環境対策課課長補佐の縄野正衡氏による「環境行政の動向と環境教育について」続いて当環境カウンセラー協会の浅野智恵美氏による「環境教育の推進とエシカル消費—ウェルビーイング/高い生活の質を目指して」の講演をしていただきました。午後からは事例発

表を加山興業（株）の中嶋あゆみさん（受講生）に企業の立場から「学校連携！出張環境授業&リサイクル工場見学」についてパワーポイントを使って発表していただきました。続いて 2 つ目の事例として実際に NPO 法人を立ち上げ、愛知県田原市で清掃活動を通して海洋ごみの問題や海洋生物に関わる活動、イベント環境活動を実践されている NPO 法人環境ボランティアサークルの子隊の鈴木吉春理事長（AECA 理事）に発表していただきました。タイトルとして「きれいな海を守るためのプロジェクト～総合的な学習から生まれた亀の子隊」についてパワーポイントを使い発表していただきました。最後にワークショップを愛知教育大学教育学部教授大鹿聖公氏から指導をしていただきました。



写真-2 事例発表

ワークショップは 2 グループに分け、2 つのタイトル①加山興業（株）に関わること、②亀の子隊に関わることにそれぞれ意見を出し合い、最後に模造紙に、各人が付箋に書き上げた内容を貼り付け、その後代表者が発表を行いました。時間が短く詳細まで話し合いはできませんでしたが、参加者の多くは実践されている方ばかりであり、有意義なワークショップであったと思います。



写真-3 ワークショップ



写真-4 修了証書交付

担当スタッフ

AECA 会長 齊藤 保彦

AECA 環境教育関連事業グループ

リーダー 多賀 吉令

浅野 智恵美

長谷川 博樹

横井 利文

環境関連施設見学会報告

～名城水処理センター～

長谷川 博樹

2025 年度第 1 回の環境関連施設見学会は、6 月 11 日（水）、名古屋市上下水道局の下水処理場＜名城水処理センター＞において実施しました。ここでは日量 100,000 m³の汚水を標準活性汚泥法で処理し、堀川に放流しています。見学会には 8 名が参加しました。

まず下水道建設を紹介する DVD を視聴した後、市民向けの展示施設（メタウォーターなごや）の館内を見て回りました。下水処理の仕組みの説明のほか、水の循環・水環境・防災などの展示も目立ちました。

地下の処理場の中に入ると、下水処理のためか室温がやや高く、若干の羽虫が飛んでいました。この日はタンクの一部を清掃整備しており、「きょうは珍しく臭いのある日です」との説明がありました。

沈砂池～最初沈殿池～反応タンク～最終沈殿池～ろ過設備を順次見学、堀川への放流は城北橋から確認しました。



最後に質問・意見交換を行いました。所長さんの「下水処理は汚泥処理をもって“完結”です」という言葉が印象的でした。

ファラデー勉強会の報告と次回のご案内

浅野 智恵美

2025 年度第 1 回ファラデー勉強会を、9 月 7 日(日)に開催しました。講師は中部大学名誉教授であり、博士(工学)、技術士、当協会理事の行本正雄氏です。「資源循環と持続」と題し、お話しくださいました。大量生産・大量消費・大量廃棄時代から循環型社会へと移行する中、資源リスク(枯渇問題、自給率)や環境リスク(海洋ごみ問題、カーボンニュートラル)の観点から、「資源循環」の重要性について説明くださいました。プラスチックスマート活動、メダル製造に必要な原材料を小型家電リサイクルで確保する東京オリンピック「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」、廃食油の高度リサイクルなどの事例も紹介されました。今回は AECA 会員のほか、講師のお誘いで春日井市廃棄物等減量審議会委員やバイオ燃料製造事業会社の代表もご参加くださいました。

2025 年度第 2 回ファラデー勉強会は、来年 2 月 8 日(日)に開催予定です。講師は、技術士(上下水道部門)であり当協会理事の伊藤昭彦氏が登壇くださいます。「下水道事業の課題と脱炭素化～過去・現在・未来～」をテーマにお話くださる予定です。詳細は AECA ニュースでお知らせします。皆様、ぜひご参加ください。



写真-1 講師 行本正雄氏



写真-2 ファラデー勉強会

ファラデー勉強会内容紹介
～テーマ「資源循環と持続」～

行本 正雄

わが国では、大量生産、大量消費、大量廃棄から脱却し、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される循環型社会の形成を目指しています。循環型社会形成推進基本法では、拡大生産者責任の考え方をもとに、品目ごとの特性を考慮し、それらの循環資源を利用するための各種リサイクル法が施行されています。中でも容器包装リサイクル、家電リサイクル、自動車リサイクルは再商品化が進んでいます。3R 社会の実現とプラスチックリサイクルは重要で、リサイクルの優先順位ではマテリアルリサイクルが一番とされています。

一方で、人間社会・産業の発展には、エネルギーの存在が欠かせないです。世界のエネルギー消費量は経済成長と共に増加を続けており、石油換算で 1965 年の 37 億トンから年平均 2.5%で増加し、2021 年には 142 億トンに達しています。石油などの化石資源は有限の資源であり、化石資源の枯渇と共に、地球温暖化も世界的に大きな問題となっており、地球温暖化の進行を遅らせるため、温室効果ガス排出量の削減が必要です。国際社会は脱化石燃料へのシフトパラダイムを志向しており、太陽光、風力、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入促進が進んでいます。特に、バイ

オマスはカーボンニュートラル特性を有しており、資源循環の観点から持続性を持ったエネルギー資源です。バイオマス燃料として、メタン発酵バイオガス、バイオエタノール、バイオ軽油(BDF)などが代表的な製品です。

最後に、「資源循環と持続」に関する具体的な 3 つの事例に注目しました。

「プラスチックスマート活動」では、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、2018 年 10 月に環境省が「プラスチックスマート」と銘打ったキャンペーンを立ち上げ、2019 年に 585 団体から 810 件の取組登録がありました。

「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」では、使用済み小型電子機器(例えば、携帯電話、パソコン)を調達し、リサイクルして 2020 東京オリンピック入賞メダルを約 5,000 個作製しました。

「廃食油の高度リサイクル」では、国土交通省の脱炭素化プロジェクト「持続可能な航空機燃料(SAF)の革新的な開発」や地元企業の使用済み天ぷら油を原料とした生分解性オイルと船舶用バイオ軽油を紹介しました。

環境デーなごや 2025 に参加しました

長谷川 博樹

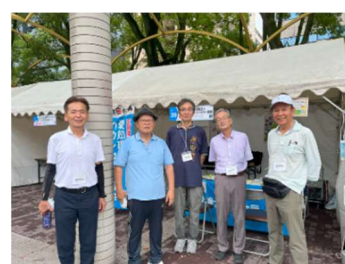
今年の環境デーなごや中央行事は「つながう！未来（あす）の地球へ」のテーマで、9 月 13 日（土）名古屋市中区の久屋大通公園において開催されました。例年残暑の厳しい中でのイベントですが、今年は小雨模様でやや蒸し暑い程度の気候でした。

エコライフひろば（エディオン久屋広場）開会式などのステージ・イベント、エコカーや水素で走る燃料電池バスの展示等で環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルを提案。50 団体がブース出展。

みんなつながる環境ひろば（エンゼル広場）ネイチャー・ポジティブの実現につながる、生きものや水環境などに関する活動紹介・情報発信。45 団体がブース出展。

当協会は「つながる環境パートナーシップ」をテーマにエンゼル広場にブース出典しました。天候のためか、一般入場者（特に家族連れ）は少ない印象でしたが、AECA ブースには一般入場者のほか、他のブース

出展者等の訪問があり、協会の PR や情報交換を行うなど、良い交流の機会になりました。



廃棄物資源循環学会の市民展示と市民フォーラム報告

行本 正雄

第 36 回廃棄物資源循環学会研究発表会が、名古屋大学で 9 月 17 日～19 日に開かれました。名古屋大会メッセージは『自然の叡智、ものづくりから持続可能な資源循環社会を共創する』です。市民展示のテーマ「市民が創る循環型社会」で、本協会も出展しました。ブースには 2 枚ポスター（SDGs 活動、歴史と歩み）を展示し、齊藤会長を含め当会理事数名が参加し、17 日、18 日の 2 日間来場者に説明・対応をしました。大学の先生や自治体職員、事業者など、多くの方と再会・協働し、廃棄物資源循環をテーマに情報交換ができました。17 日の市民フォーラムには参加 19 団体のプレゼンがあり、齊藤会長が活動報告を行いました。

なお、市民展示は約 200 名、市民フォーラムは約 50 名の参加者でした。



写真-1 AECA ブース



写真-2 岡山先生と齊藤会長



写真-3 市民フォーラム発表（齊藤会長）

三河湾環境再生ワークショップを振り返って

鈴木 吉春

2 月に三河湾環境再生ワークショップは「森とみどり事業」を補助金申請の段階からやってほしい、と齊藤会長から依頼されました。「わかりました」と軽く引き受けましたが、申請のための必要経費や後援依頼など理解不足のまま引き受けたので少々困りました。

当日のワークショップは、亀の子隊の様々な経験もあり、プログラムを作るにはさほど大変さはありませんでした。

とはいえ、初めてのことであり、ひとりで行うことではなく数人のスタッフのみなさんにも協力を願わなければならないために、その役割分担などについて、どんなことを役割として設定する必要があるのか、時間的なことは大丈夫かなど心配しながら計画を作りました。

また、自分が講師をやっても講師料は補助金から出せないし、と悩んでいて、急遽、講師に「島を守る会」の三矢由紀子さんをお願いしたのは 2 日前でした。

当日、渥美から蒲郡を通る間は激しい雨でした。一色の港に着いたときもまだ雨が降っていて気温が 21 度まで下がっていました。さすがに風邪をひいてはまずいと思い、スタッフのみなさんは気付いたと思いますが、ゴミ袋を使って簡易の上着を作り、お昼の民宿に入るまで着ていました。



写真-1 佐久島東港



写真-2 三矢さんの説明



写真-3 おひるねハウス

参加者は、広報を始めて 1 週間ほどで 30 人を超えました。参加者が集まらないと気をもみますが、想定より早く集まり安心しました。高齢者が多いのには正直驚きましたが、西港からの散策も楽しんで貰えていたようです。造形作業をする大浦海水浴場に着いたとき、後ろのグループがいなくてちょっと驚きましたが、何とかお昼の時間が少し遅れただけで済みました。ワークショップの目玉(?)となる造形作業では、参加者が思い思いに石や貝殻を並べて創造力豊かに作る姿に感心しました。ひとりのお母さんは「自由に作れるのっていいですね。つくる人の思いが出ますよね」と話してくださいました。

中学生 3 人は、ボードにボン드로文字を書き、その上に砂をまぶして砂絵のようにしていました。ナイスアイデアだと感心しました。



写真-4 造形作業

昼食場所の民宿「市兵衛」さんにお世話になりました。井も安く提供していただきました。一般参加者 32 名(内 1 名キャンセル)、スタッフ 7 名計 32 名(当日 9 月 20 日)での活動でした。



写真-5 造形作業

スタッフのみなさんには、受付から造形作業の道具配布、グループ分け、散策中の安全管理などありがとうございました。みなさんの協力のお陰で無事終了できました。



写真-6 集合写真

「SDGs AICHI EXPO (SDGs 子ども・ユースフェア)」にブース出展

齊藤 保彦

「SDGs AICHI EXPO (SDGs 子ども・ユースフェア)」が下記のように愛知県国際展示場にて開催されました(全てのステージプログラムはオンライン配信あり)。主催は、SDGs AICHI EXPO 実行委員会、AECA も委員会メンバーになっています。

本年度は、子ども・ユース世代の関心を喚起し行動変容を促進する取組～楽しみながら学ぶ～をテーマに、従来の 3 日間から 2 日間の開催となりました。

本年度の特徴として、従来の展示、観覧中心のイベントに加え、環境問題に関する子ども・若者向けのクイズ大会などの参加型イベントや出展企業とも連携して、環境問題の理解度を深めてもらう体験型ワークショップ等を開催するなど、多様なコンテンツを取り入れたことが挙げられます。

ステージイベントやワークショップ(下記参照)、愛知県を始め県内の市町村、企業、NPO・NGO、高校、大学等、多くの主体によるブース出展など、多彩なプログラムが展開されました。

来場者数は、2 日間で 5,600 人超でした(オンラインによる視聴者数は別途集計)。

AECA は今年もブースを出展し、1)SDGs に関する取り組み(パネル紹介)、2)愛知県・三河湾環境再生プロジェクトへの参画実績、創設以来の AECA の歩み(パネルで紹介)、3)環境カウンセラー制度に関する資料の展示、4)EA21 に関する資料の展示を行いました。

また、来訪者対応として、SDGs クイズ(パソコン画面で実施)を行いました。

○開催ポリシー

SDGs AICHI EXPO は、世界に発信できる SDGs リーディングモデルとなるイベントを目指しています。

○開催日時：2025 年 10 月 3 日(金)・4 日(土)

各日とも 10:00～17:00

○開催場所：愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)(常滑市セントレア 5 丁目 10 番 1 号)

○ステージイベント

<1 日目>

・開会挨拶：愛知県知事 大村秀章 氏

・「お掃除ユニット CLEAR'S」によるライブステージ
・金城学院大学の学生による国際協力活動の紹介
・ユースアスリートによるスポーツの無限の可能性を考えるセッション

・加山興業によるクイズに挑戦企画

・「知多娘。」による取組紹介

・常滑市&ファミリースマイルフェスティバル

・愛知文教大学・愛知文教女子短期大学による提案、プロジェクトの紹介

<2 日目>

・大学生と企業のパネルディスカッション

・龍谷大学、ソフトバンク、大津市による取組の報告

・よしもと SDGs ステージ

・日本ボーイスカウト愛知連盟による団体紹介、ゲームとクイズ

・豊田自動織機シャトルズ愛知による取組発表等

・アサヒ飲料株式会社による講演

講師：大阪公立大学 特任教授 水野 敬 氏

・エシカル&フェアトレードファッションショー

・ユネスコエコスクール交流会

○ワークショップ

ジャンルとして、「工作・お絵描き」、「考える・話し合う」、「遊び・ゲーム」の様々なワークショップが行われました。

<1 日目>

・企業、大学、行政等、計 14 団体による体験教室

<2 日目>

・公益団体、市民団体、行政、企業、大学等、計 17 団体による体験教室



写真 SDGs クイズ

AECA だより

森田 登喜子

友人の若いお嬢さんが「こう害」に悩まされているとうかがいました。空気中に漂う合成香料が原因の健康被害です。社会生活もままなりませんし、さらに香料が家族の衣服に付いて届くので家族との自由な接触さえ難しく、想像に余る事態です。子どもたちの被害も大きいようです。「子どもが大切な国」なのに、学校にも行けず、人間関係も築けず、教育を受ける権利も阻まれている子どもたちがいるのです¹⁾。

「こう害」と言う言葉ですぐに思いつくのは 1960～70 年代の公害（事業・生活活動による広範な環境破壊や健康被害）、1980～90 年代の光害（ひかり害：過剰不適切な人工照明による公害）ですが、10 年余前から香害（香りの害：合成香料による空気公害）が問題になり始めました。

天然の「香り」には人を癒す効果があり、古くから医療に用いられてきました。なぜ、今「香り」が問題になるのでしょうか。表に出れば車の排気ガス、室内にはたばこの煙が充満という生活は昔、今は「加齢臭」「口臭」「汗臭さ」などの生理的な臭いさえも嫌うスメハラ（スメル・ハラスメント：自分の臭いで周囲に迷惑をかけること）の時代です。あらゆる場所で「消臭剤」、体にも「制汗剤」等々が使われています。この「良い匂い」は元の臭いを覆い隠し、平安時代のお香やベルサイユ宮殿の香水と同じ役割を果たしています。それを支えているのが大量生産された「合成香料」です。ことに日常の洗濯に用いられる柔軟剤が問題を大きくしています。プラスチック製のマイクロカプセルなどに閉じ込められて使用されている諸成分の中特に合成香料が、衣服の繊維に付着して順次空気中に飛散することで、広範な香害を引き起こしています。

2020 年独立行政法人国民生活センターは、洗濯用柔軟剤による健康被害を訴える相談が 2014 年以降で 928 件寄せられたと発表しました。内訳は、78%が 30～60 歳の女性でした。それを受けた市民団体「香害をなくす連絡会」の調査では、被害者の約 2 割に離職、不登校などが起きていました。また、柔軟剤使用量の増加と比例して香害被害者数が増加していました²⁾。

しかし、香害問題で難しいのは、「香り」に対する人々の感受性が異なることです。それが問題を矮小化しています。だが、考えねばならないのは「ヒトの免疫ポットに限界」があり、被爆量がポットから溢れれば思いがけず誰もが被害者になることです。テレビのコマーシャルにご注意ください。大きな「香り」のマーケットがあることが分かります。今後さらに被害者が増える可能性があります。

EU では既に 2023 年にマイクロプラスチック排出量削減のための規制が始められました³⁾。アメリカでは人体に対する有害性のため環境保護庁（EPA）等省庁内部に無香料ポリシーがあります。日本でも、厚生労働省等による「香害ポスター」や地方自治体による自粛の呼びかけがありますが、まだ国の研究・対策は遅れています。一刻も早くフレグランス・フリー（合成香料が添加されていないこと）に向けた法令の整備と生活の中での注意喚起が必要です。

1) 香害・化学物質過敏症を考える絵本「いっしょにいたいから」 せきみわこ文他

NPO ひとだから～Notice our human rights～
2025.3.20

2) 香害を引き起こすものは何か 水野玲子 月間保団連 2022.3 No.1366

3) [Restriction of microplastics in the EU from 17 October 2023 | Access2Markets](#)

「これからの予定」

2025 年 11 月 11 日（火） 施設見学会
（中部国際空港エネルギーセンター）

2025 年 12 月 6 日（土） 15:00～17:30

役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）

2026 年 2 月 8 日（日） 10:30～12:00

ファラデー勉強会（講師：伊藤 昭彦 氏）

13:00～15:30

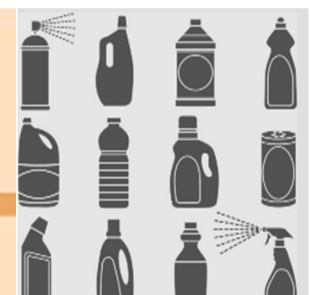
役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）

2026 年 3 月 7 日（土） 13:30～16:00

理事会（本陣なかむら共用会議室）

2026 年 4 月 5 日（日） 13:30～16:00

理事会（本陣なかむら共用会議室）



EA21 地域事務局の近況

今回は【環境関連法規などの取りまとめ】がテーマです。

社会からの信頼を得るためには、適用される環境関連の法規などを適切に把握し、遵守していくことが必要です。事業を行うに当たって遵守しなければならない環境関連法規及びその他の環境関連の要求等、並びに遵守のための組織の取組を整理し、一覧表等に取りまとめてください。一覧表の詳細さは「組織が遵守するために必要な程度」であり、組織の状況（適用法規、内容の複雑さ、関係者数等）により異

石川 創

なります。環境関連法規には、国が定めた法令、都道府県・市町村のものなどがあります。その他の環境関連の要求などには、地域との協定、顧客（納入先や取引先）からの要請、業界団体などの取り決めなどがあります。一覧表は、環境関連法規の日常管理だけでなく、遵守状況を確認するためのチェックリストにも使用できます。環境関連法規等は定期的又は随時、改正情報を入手し、また事業活動の変化に対応して常に最新のものとなるよう管理してください。

あいち生態系ネットワーク協議会関連

齊藤 保彦

当協会が加盟している協議会（知多半島生態系ネットワーク協議会、東部丘陵生態系ネットワーク協議会、尾張西部生態系ネットワーク協議会、渥美半島生態系ネットワーク協議会）の活動状況については、下記のとおりです。

○知多半島生態系ネットワーク協議会

令和 7 年度第 1 回総会：令和 7 年 6 月 27 日（金）

東海市芸術劇場にて

- 議題 (1) 2024 年度 協議会事業報告
(2) 2024 年度 決算報告、監査報告

- (3) 2025 年度 協議会事業計画案
(4) 2025 年度 協議会予算案
(5) 2025 年度 協議会のスケジュールについて
(6) その他 幹事の交代について

○東部丘陵生態系ネットワーク協議会

令和 7 年度第 1 回総会：令和 7 年 9 月 30 日（火）
オンライン会議

- 議題 (1) 令和 7 年度事業（あいち自然再生カレッジ）について
(2) その他

渥美半島生態系ネットワーク協議会の報告

鈴木 吉春

7 月 25 日に総会がありました。ただ、会長の忙しさなどがあり対面で集まることはなく、メールによる紙面配布となりました。渥美半島生態系ネットワークは田原市内の事業所・団体のみが所属するネットワークで他地区のネットワークとは様相が異なります。団体数が少ないこともあり、ネットワークとしてのイベントを催すことが困難です。

10 月 18 日には CAEA 渥美半島環境活動協議会が主催の「渥美半島の自然訪問」バスツアーに共催という形で参加しました。今回のバスツアーは、渥美半島を太平洋側から三河湾側へ半島のほぼ中央部を横断するコースとなっています。渥美半島は「海」のイメージですが、山もあります。山に登り、周辺を見ることで渥美半島の自然や歴史を感じてもらえるコースとなっています。



写真-1 展望台



写真-2 オウム石

まずは、高松町の尾村山に登り、太平洋を望む展望台で講師の話の聞きしました。展望台からは眼下に広がる太平洋だけでなく、電照菊の温室群も見ることができました。

次は、伝説が残るオウム石を訪れました。そして、三河湾に面した貝の浜という伊川津貝塚に近い海に行きました。かつて浜を貝が埋め尽くしたと言われていた浜です。

お昼は、「宇津江荘」という料理旅館で、ゆっく

り、たっぷり地の魚を堪能しました。参加者は料理のおいしさに満足した様子です。その後は、「白谷」という地区の高台にある八柱神社を訪ねました。ここからは、白谷の海を見下ろすことができます。1980 年代末からリゾート開発が進み、海は埋め立てられました。かつて「角建て網漁」という定置網が盛んだった面影はなくなり、今は「白谷海浜公園」として、人工海水浴場と陸上競技場、芝生広場が広がります。



写真-3 貝の浜を見下ろす堤防

白谷地区の山は石灰岩が取れることで鉱山開発が進み、1920 年に発見されていた「白雲洞」という鍾乳洞は姿を消しました。

最後の訪問場所は、「笠山」。ダイダラボッチが富士山から天秤棒で土を運んでいたときに、休憩のために蔵王山に腰を下ろし担いでいた土を降ろした一つが「笠山」となり、もう一方は海を挟んで「姫島」となったという伝説があるところです。



写真-4 笠山に登る階段

参加者は、30 人という募集人数を大幅に超えて、スタッフ、講師を入れて 45 名となりました。名古屋市、豊橋市など愛知県内だけでなく、静岡県から焼津市や菊川市、浜松市の方の参加もありました。

渥美半島西 大切な浜を守りたい

鈴木 吉春

渥美半島西の浜は南北に約 10 km あると言われている浜です。三河湾と伊勢湾に面し、浜からは三河湾から伊勢湾をぐるっと見渡すことができます。佐久島、日間賀島、篠島などの島々や蒲郡の山々、知多半島、伊勢湾の向こうには伊勢・鳥羽の山々が見えます。冬の天気の良い日には雪山も見えます。

春から秋にかけては、サーフキャスティングをする人たちにぎわいます。夏は、消波ブロックで囲まれたところで海遊びをする家族連れが多くいます。BBQ（浜では禁止）やキャンプをする人たちにぎわいます。三河湾国定公園に面し、愛知県立公園でもあります。

かつては沿岸の定置網漁が盛んに行われていました。しかし、伊勢湾台風の被害を受けて堤防が築かれ、浜への出入りが難しくなり、定置網漁は姿を消してしまいました。その頃は、浜に井戸を掘り、定置網で獲れた魚を洗ったり、捌いたりしていたと聞いています。亀の子隊が始まった平成 10 年のころには浜小屋が残っていて、波打ち際には水道管のようなものが顔を出していました。

つまり、西の浜には真水が出るのです。それは、渥美半島の付け根の東の方は海拔が高く、西の先端に向かうにつれて低くなるために地下水が西の方に流れ、伊良湖に近い地域では湿地が数カ所で見られます。

この西の浜の北の奥の浜に、今、巨大風車を建てるという計画が進んでいます。写真-1 がその位置です。今森に立っている風車の 3 倍以上の高さになります。

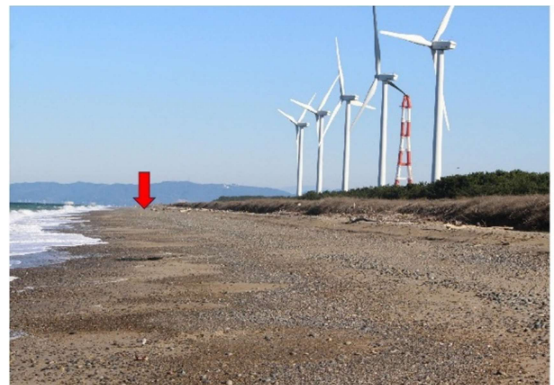


写真-1 風車建設予定位置

図-1 の説明にもありますが、風車の羽が回るトップの高さは 144.1m。基礎の大きさも縦横 15.8m、高さが 4.5m です。その基礎に一基 8 本の杭が打たれます。その長さも 17.5～45.4m という深さになります。

建設地域には、「ハギクソウ」という絶滅危惧種 I A 類に分類されている植物があります。全国でここにしかない植物です。近くの松林には、5 月から 6 月にかけてハルゼミが鳴きます。目の前の海には希少種であるスナメリが生息しています。冬には、カモやガンの群れが羽を休めています。

工事が始まれば、その騒音でハルゼミやスナメリには影響が出るだろうと思います。風車が完成すれば、音波で会話するスナメリには、風車から出る低周波の影響はかなり大きなものとなるでしょう。

「重要な自然環境のまとまりの場の改変を回避するよう、事業計画の見直しを行うこと」という指摘が知事意見書にはあります。しかし、評価書には「最小

限にとどめます」とありますが、建設のための道路や管理道路、そして基礎の大きさを見れば、大きな改変が行われることは明白です。

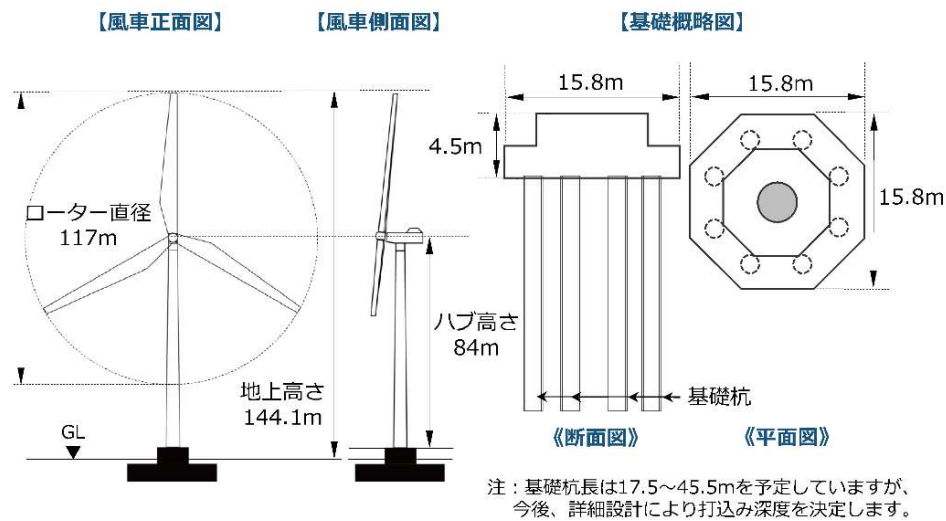


図-1 風車の形状
出典：(仮称) あつみ第二風力発電事業 環境影響評価書のあらまし

◆主要な眺望点の状況

図中番号	調査地点	距離(km)	方向	図中番号	調査地点	距離(km)	方向
①	伊良湖オーシャンリゾート	約7.7	南	⑦	篠島太一岬・おたけ展望台	約5.3	北西
②	休暇村伊良湖屋上展望台	約5.1	南	⑧	篠島サンサンビーチ	約5.6	北西
③	休暇村伊良湖北側道路	約4.4	南	⑨	日間賀島リビエールセンター	約7.4	北西
④	西ノ浜海浜の森	約4.1	南西	⑩	日間賀島サライズビーチ	約7.2	北西
⑤	渥美の森 山頂展望台	約6.1	南東	⑪	佐久島 宿舎計画地	約7.5	北
⑥	田原市役所渥美支所	約5.5	南東	⑫	佐久島 園地計画地	約6.6	北

注：1 距離は、眺望点と最寄りの風力発電機との水平距離を示します。
2 方向は、最寄りの風力発電機から眺望点の方向を示します。

表-1 主要な眺望点の状況
出典：(仮称) あつみ第二風力発電事業 環境影響評価書のあらまし

環境報告書には「眺望点」という項目があります。風車を立てたときに邪魔になるかどうかを見る指針です。そこに、表-1 のとおり「西の浜」が入っていません。前掲の写真-1 のように目の前に建設するのに、眺望点の項目にないのです。最も近い「眺望点」は海浜の森公園の4.1kmです。

「人と自然のふれあいの活動の場」という項目もありますが、ここにも「西の浜」は入っていません。

亀の子隊として毎月クリーンアップ活動をし、参加者は 1,000 人を越えます。多くの釣り客も来ます。環境アセス評価書を丁寧に読み込んでいくと、いくつかの問題点があることが見えてきました。その点について、本年度 4 月から何度か中部電力の担当者で話し、疑問点、不足点について説明を求めてきましたが、納得のいく回答は得られませんでした。残念の一言ですが、建設中あるいは建設後の中部電力の西の浜の環境への配慮に期待したいと思います。

環境活動ひとつまみその 31

深宇宙展

出口 知子

好きなもの、いろいろある。環境、恐竜、古代遺跡、美術…そして宇宙も！2025 年夏、東京の日本科学未来館で開催された深宇宙展に足を運んだ。

母なる大地の地球の原料は、宇宙の隕石や小惑星、星のかけら。宇宙への憧れは、そのなごりか？

宇宙の成分は、ダークマターとダークエネルギーが 95%で、そのほとんど謎だそう。…だとすると、人がデータと理論で解明してきたことは正しいのか？DNA で体の元素組成はほぼ同じだとしても、動植物の個体は個性豊か。ダークマターとかわからないものと、いろんな星のかけらから出来ているなら、理解不能な性格や価値観がいろいろあってもおかしくはない。

他にも、地球の周囲にはすでに沢山の衛星が回っているから、GPS やスマホを日常で普通に使えると

か…へえ、知らなかった～、これはスゲ～！（10 月から豊田で開催中。ご関心あれば）等々。

宇宙では星の破壊と再生が繰り返される。人も災害や戦争で、破壊と再生を繰り返す。ただし宇宙の循環と違うのは、地球の環境を維持しなければ、生命体は生存できないということ。今、異常気象はそのラインを越えている。

強く思ったのは、火星や月を開発して無理に移住するより、今の地球を大切にしたい。そして、他の星まで資源にしないで欲しい。この素晴らしい科学技術、そこに使うの？宇宙規模での環境破壊と環境汚染は、今までと次元が違う。

何故だろう、会場を出てから不安と違和感が消えない。私達の命を支える全ては地球環境にある。忘れてはならない。

「複利で伸びる 1 つの習慣」 読後感

一江 輝夫

この本はいわば自己改造の指南書です。低迷していたイギリスの自転車競技を一躍世界一のレベルまで引き上げた事例等を示し、当たり前前の小さな改善を徹底的に積み上げることの有効性を示しています。

目標を達成するにはそれに応じた習慣化が必要です。如何にして習慣化するか。楽しいものにする、さもないと楽しいものとセットにする、身近に置いて気軽に手をつけられるようにする。身につにくい習慣は当面 2 分間だけやってみる。すぐに報われる行動は繰り返すという心理法則の活用等、多くの工夫が挙げられています。

目標とすべきは結果ではなく状態だそうです。何が欲しいか何になりたいかではなく、どのような人になりたいかだそうです。適性という観点からは、他の人が感じるほど辛いものがないものが自分に向いており、自分

の強みを活かすのが有利です。周囲との関係では、価値観の異なる人の中では自分の習慣を通すことは難しい。要するに良い習慣に伴う抵抗を減らし、悪い習慣に伴う抵抗を増やすことです。紹介されているノウハウは全て身につけたいところです。

おそらく何にでも適用できるでしょう。ある YouTuber はこの書籍に啓発されて TOEIC スコア 555 点を 940 点まで上げたと言っています。環境問題でも多くのアクションを習慣化することによって、人類存続に貢献する人になれるでしょう。



草の根環境学習 ～香りの話・植物とかおり～

礪貝 はるみ

動物のように動くことができない植物は、実は、他の植物や昆虫とにおいを使ってコミュニケーションをとり外敵から身を守り子孫を増やすという戦略を取っています。代表的なものとして、虫媒花は昆虫に蜜を吸わせる代わりに受粉を手伝ってもらいます。ここでは、受粉の手伝いをしてくれる昆虫が一番活動する時

間帯に最も強く香るようにコントロールされています。多くのバラはハナバチが活動する昼間に、ヤマユリやジャスミン、カラスウリなどは夕方から夜にかけて強く香り、夜行性のスズメガの仲間を誘い出します。

カラスウリの花は、その形状の美しさからまさに「夜の女王」と呼びたくなります。



写真-1 夜の女王 カラスウリの花



写真-2 ローズマリー



写真-3 マリーゴールド

また、ミントやローズマリーなどのハーブ類は葉の表面に昆虫が苦手なテルペン類を大量に蓄積し、天敵である昆虫や病原菌から身を守っています。

そのにおいて周りの植物の天敵を呼びよせることにより、植物に害が及ぶのを防いだり、においを感知した周りの植物が病気に対する抵抗力を高めたり、自分だけではなく周りの植物も守る役割をしています。マリーゴールドやネギなどのコンパニオンプランツはこれに当たるでしょう。

私が驚いたのは、多くの植物は葉を天敵に食べられたりすると、においを放出し周りの植物に危険を知らせ、警報メッセージを出すということです。それにより周りの植物は防衛物質を蓄えるなど反応をします。植物がにおい（かおり）によるコミュニケーションを取っていると知った時の驚きは大きなもので、改めて自然の偉大さを感じました。

絵画 仁王像 2

一江 輝夫



これはまだ小品ですが、将来的に巨大な仁王像を描きたいと思っております。子供の頃に観た悪夢で巨大な仁王像の足元を向こうに行くところ、とても怖くてできなかった情景を再現したいです。

てふてふ

横井 利文

昆虫の蝶は、昔は和語の「カヒヒラコ」と呼称されていましたが、平安時代、古代中国語の「tiep」に取って代わられました。この発音「tiep」をそのまま文字に書き写したものが「てふ」だったそうです。この発音「tiep」は、時代を下るにつれて変化していき、平安中期以降から鎌倉時代にかけて「てう」に変化し、江戸時代までには「ちょお」と発音するようになりました。俳句では「てふてふ」が春の季語として使われています。

蝶の起源は、米国のフロリダ大学で行われた研究により、今から約 1 億年前、恐竜たちがまだ大地を歩き回っていた白亜紀中期ごろに、現在の北アメリカ中西部で誕生したことが示されました。その後、蝶たちは海や大陸を越えて世界各地に進出し、1700 万年ほど前に最終的にヨーロッパに辿り着いたそうです。

蝶はギリシャ神話や中国の故事、仏教やキリスト教の教えの中にも登場し、洋の東西を問わず、幼虫からサナギを経て成虫となるその劇的な変化によって、輪廻転生や復活、長寿などの象徴とされてきました。仏教では極楽浄土に魂を運んでくれる神聖な生き物輪廻転生の象徴でもあるため、仏具にはよく蝶の装飾が使われています。

お盆時期の黒い蝶や、夜の蝶を仏の使いとする伝承や、蝶を死霊の化身とみなす地方もあり、蝶が無数に飛び回ったり、仏壇や部屋の中に現われたりすると、死の前兆ととらえる見方もあります。蝶は海外でも、人間の生と死と復活のシンボルとしてとらえられており、死者の魂が宿るとされています。

「モニタリングサイト 1000 里地調査」の最新調査結果では、身近な生物の個体数が急速に減少しているとの報告がありました。世界自然保護基金 (WWF) では生物多様性の豊かさを示す指数が、自然環境の損失や気候変動により過去 50 年間で 73%低下したとする報告書を発表され、生態系は回復不可能な状況に近づいていると強い危機感を示しました。

「モニタリングサイト 1000 里地調査」の中で蝶の評価対象種 103 種のうち 33%の 34 種が年間 3.7~22.0%減少しているとの報告がありました。

長い時間をかけて自然と上手に付き合ってきた私たちは今、自然から搾取し、自然を壊してしまう生活から早く脱却して自然共生社会にしていく必要があります。ネイチャーポジティブを実現することが大事です。

現代化学史考 (35) 廣田襄*著「現代化学史」を読んで

2. 現代化学の誕生とその発展~22 (20 世紀前半の化学)

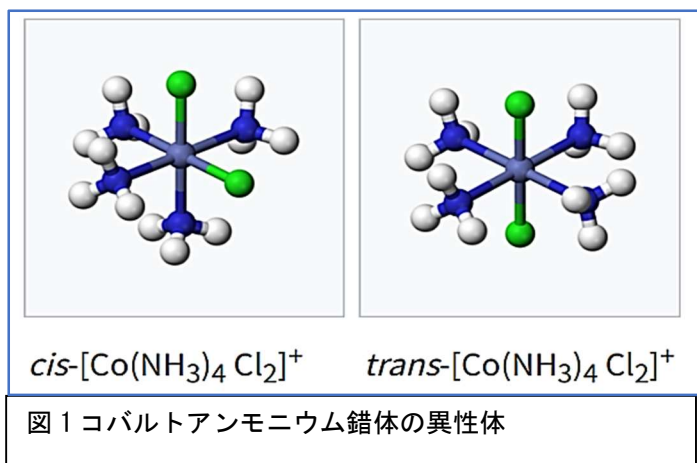
森田 登喜子

前号では、共有結合によって安定化が起こることが量子力学で説明可能になった時点までたどりました。

少々飛びますが、今号ではトピックスとして「多孔性金属錯体の開発」でノーベル化学賞を受賞された北川進京都大学高等研究院特別教授の「多孔性金属錯体 (MOF: Metal-Organic Framework)」に触れてみます。

金属錯体 19 世紀後半、有機化学では化学構造論が目覚ましく進歩しました。また多くの元素が発見されたため無機化学も発展しました。世紀末には有機、無機化学を融合する分野として錯体化学が登場しました。錯体とは 1822 年にドイツのレオポルド・グメーリン (1788-1853) が合成したシュウ酸コバルト塩 $(\text{Co}(\text{NH}_3)_6)_2(\text{C}_2\text{O}_4)_3$ のように、金属イオンを中心に周囲に配位子と呼ばれる原子、イオン、または

分子が結合してできた複合体のことです。塩の結合が複雑で、また多くの金属の原子価が一定でないため、構造解明は進みませんでした。1892 年スイスのアルフレート・ヴェルナー (1866-1919) は、コバルト錯体ではアンモニウム分子が鎖状に結合しているのではなく、6 価のコバルト原子に直接結合していると示しました¹⁾。彼は主原子価と副原子価の概念を提出し、コバルト錯体の結合は副原子価によるもので、その原子価を配位数と呼びました。コバルト錯体の構造は X 線解析 (X 線が結晶格子に入射した際



に回折現象を示すことを利用して、物質の結晶構造や組成を分析する手法) によって証明されました。配位体にはシス、トランス型があります²⁾ (図-1)。

ヴェルナーは錯体化学をはじめ近代化学に大きな貢献をし、1913 年「分子内原子の結合に関する研究」でノーベル化学賞を受賞しました。

配位結合 1929 年ドイツのハンス・ベーテ

(1906-2005) が錯体における結合と物性を量子力学に基づいて説明しました。彼は結晶場を与える金属イオンの d 軌道の電子エネルギーが場の対称性によってどのように分裂するかを明らかにし、「結晶場の理論」を構築しました³⁾。1933 年アメリカに渡ったベーテは物理学の多方面で業績を上げ、1967 年「核反応理論に対する貢献、とくに星におけるエネルギー発生に関する発見」でノーベル物理学賞を受賞しました。一方、1931 年ポーリングは混成軌道の考えに基づいて配位結合を説明しました。それは、結合を形成する 2 つの原子のうち、一方の原子のみが結合電子（非共有電子対）を分子軌道に提供する共有結合の一種ということです。アンモニア (NH_3) の場合、窒素原子が持つ非共有電子対を水素イオン

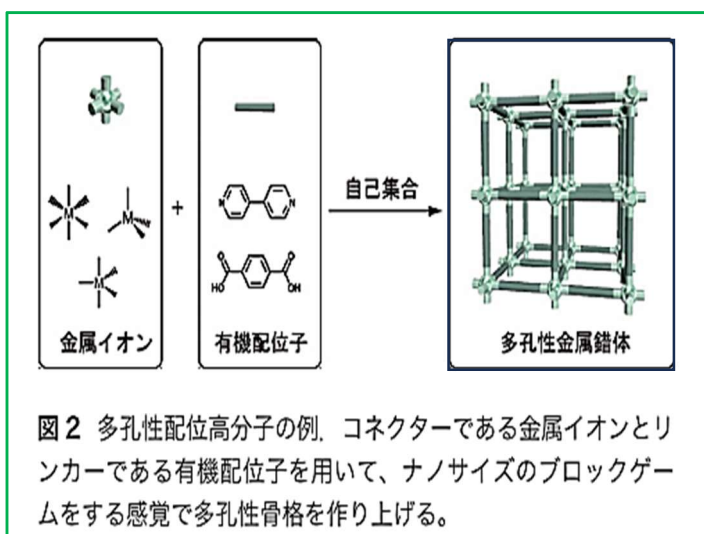
(H^+) に供与する配位結合によりアンモニウムイオン (NH_4^+) ができます。アンモニアの窒素原子が電子対供与体、水素イオンが電子対受容体です。複雑な金属錯体は、陽イオンに分子や陰イオンが配位結合した構造体で、混成軌道の説明は複雑になります⁴⁾。さらに 1932 年、アメリカのジョン・ヴァン・ブレック (1899-1980) が「結晶場の理論」とマリケンの分子軌道論を合体した「配位子場の理論」を提案しました。それによって金属イオンと配位子の軌道の重なりと電子の非局在化が説明され、配位化合物の磁性や吸収スペクトルと、d 電子の軌道のエネルギー準位との関係が明らかになりました⁵⁾。ブレックは 1977 年「磁性体と無秩序系の電子構造の理論的研究」でノーベル物理学賞を受賞しました。

また、中心金属が有機分子と複数の結合をしているキレート化合物は、生体関連物質などの分野で重要性が認められて発展してきました。

多孔性配位高分子 2025 年のノーベル化学賞は、「多孔性金属錯体の開発」で日本の北川進博士が受賞しました。多孔性素材は、活性炭のような炭素材料が 4000 年以上前からさまざまな場や目的で使用されてきました。ゼオライト（規則的な細孔と空洞のあるアルミノケイ酸塩鉱物）にも 300 年の歴史があります。

しかし、1990 年以降配位高分子 (Coordination Polymer ; CP) または無機-有機骨格体 (Metal-Organic Framework ; MOF) の新材料が出現し、現在では基礎科学だけではなく化学工学の大きな分野

になりました。これは、「分子をつくる化学」から「空間をつくる化学」への進展でした⁶⁾。数ナノメートルサイズの空間を作るナノテクノロジーの基盤技術の発展と配位結合が強力な手段になりました。分子組み上げに有効な「自己集合」によって有機配位子を金属イオンに連結させ、無限骨格構造を有する配位高分子が作られました。しかし、当初は多孔性材料として使用可能な強度を持つ配位高分子の合成は困難とされ、手を付ける化学者はいませんでした。1997 年北川進博士が世界で初めて室温でも安定な多孔性配位高分子 (PCP) を合成しました (図 2)。



PCP は、現在様々な分野に応用されています。ガス吸蔵錯体としての機能は、 CO_2 、 NO_x を吸蔵することで環境問題に、 H_2 、 CH_4 を吸蔵することで資源・エネルギー問題などの対応策として大きな可能性を有しています。

1) A. Werner, *Z. Anorg. chem.*, **3**, 267 (1893), 化学の原点Ⅱ期, 1, 9 (1983)

2) A. Werner, *Neue Anschauung der Anorganischen Chemie*, F. Vieweg und Sohn, Braunschweig, 1905

3) H. Bethe, *Ann. physik.* **3**, 135 (1929)

4) L. Pauling, *J. Am. Chem. Soc.*, **53**, 1386 (1931)

5) J.H. van Vleck, *J. Chem. Phys.* **3**, 803, 807 (1935)

6) Interview: 北川 進 博士に聞く 2012 年 4 月 現代化学

7) M. Kondo, T. Yoshitomi, K. Seki, H. Matsuzaka, S. Kitagawa, *Angew. Chem., Int. Ed.*, **36**, 1725 (1997)

8) Bull. Jpn. Soc. Coord. Chem. Vol. **51** (2008)

身近な仲間たち~~ヒオウギ~~~

樋口 祐子

初めてヒオウギにお会いしたのは、春日井市都市緑化植物園万葉苑でした。秋だったので、花は咲いていなくて、真っ黒い種が先端に何個か固まって付いていました。葉は全体として扇状になっています。こんな変わった植物があるのかと驚いたものでした。今回、この欄に書いていないことに気づき、「なんで？」と思って取り上げてみました。

アヤメ科アヤメ属。本州、四国、九州、沖縄の海岸や山地の草地に自生しています。花期は 7 月～9 月。花は背が高く、色はオレンジ色で赤い斑点がたくさんあります。朝咲いてその日の夕方にはしぼむ一日花です。この花の特徴はなんといっても、葉が扇状に出ることです。扇を広げたように見えることからこの名前と呼ばれています。

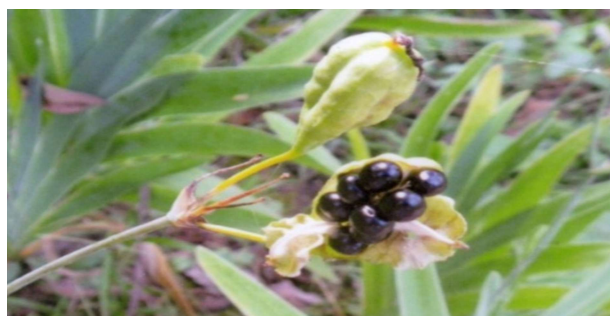
秋になると直径 5mm 位の真っ黒い種を付けます。これが「ぬばたま」といわれるもので、万葉集に多く出てきます。この言葉が見られる歌は 80 首ありますが、種が真っ黒いことから、黒、夜、闇、暗などの枕詞として使われ、植物としてのヒオウギの花や実そのものの歌は 1 首もありません。ヒオウギは花材として古くから用いられていて、京都の祇園祭や大阪の天神祭では床の間や軒先に飾る花として愛好されています。



ヒオウギの花



ヒオウギの葉（扇を広げたように見える）



ヒオウギの実

ぬばたまの 黒髪変はり 白けても

痛き恋には あふ時ありけり

沙弥満誓（さみまんせい）巻 4-573

解説：沙弥満誓が大宰府を去る大伴旅人に贈った歌。沙弥満誓はお坊さん。ここでいう恋は男女の恋ではなく、私は親しくしていただいたあなたと別れ、あなたを慕い、懐かしく思えてなりません、という歌です。

星空の記(XVII 再び月のこと)

佐藤 正光

月は古今東西を問わず最も身近な天体として親しまれてきました。今回も月の話題です。

日本では明治 5 年 11 月 9 日から太陽暦を正式に採用していますが、それまでは月の運行を基にした太陰暦を用いていました。従って日にちを知れば、歴史上の出来事もその日の月の満ち欠けが判明します。例えば、1582 年 6 月 2 日の早朝に起きた本能寺の変で、明智光秀が丹波亀山城から山陰道を東進して入京(約 25km)した夜は、6 月 1 日～2 日の新月に近い漆黒の世界、その中を甲冑と馬の音だけが刻々と京都に向かったことでしょう。70 年以上前の小学生の頃に読んだ本能寺の変の本に、光秀が京都と丹波の国境の老ノ坂を越えて桂川にさしかかったところで、「敵は本能寺にあり」と号令して、「武運を月に向かって祈った」との件があったのを不思議に記憶しています。亀山城から京都への道順や号令の有無に諸説あるものの、月に武運を祈ったことは全くの誤りであることを長じてから知りました。

今年 9 月 8 日未明、皆既月食が全国で見られました。筆者も午前 1 時にはスタンバイし、1 時 27 分から次第に月が地球の影に隠れていく様を、双眼鏡で見ながらカメラで百数十枚に収めました。2 時 31 分には皆既が始まり、赤銅色の月が淡く光るのが観測できたのは感激ものでした。こうした壮大な天体ショーを観ていると、昼間の暑さや俗世間の些細なことを忘れ、夜風の爽やかさもあって心に清風を感じたものです。

日本には百〇〇と銘打った名所等、例えば日本百名山、日本百低山、日本百名城、日本百名道、日本百名湯等がありますが、日本百名月も有名です。これは、日本百名月推進委員会((社)夜景観光コンベンション・ビューローと KNT-CT ホールディング kk)によって、2015 年に創設され 2022 年に全国登録 100 箇所を達成した月の名所百選(2025 年 9 月現在の認定登録地は 97 箇所)です。中部地方では 20 カ所が指定されており、愛知県では蔵王山(田原市)と武雄神社(武豊町)、岐阜県では月見の森(海津市)と岐阜城(岐阜市)が指定されています。そうした場所で観る月は一層趣のあるものと思います。

今年(2025 年)、はじめて月が文化遺産保護リストに選ばれました。文化遺産を監視している団体、ワールド・モニュメント財団(World Monuments Fund)が、毎年発表する保護リストに選ばれた 25 ヶ所の中に月が入っています。200 以上の候補地の中から 2 段階の審査を経て外部の専門家たちが選出したもので、月は

地球上にない文化遺産として選ばれた初の場所です。地球以外の場所も守る必要が出てきたということです。「人類が地球を超えて踏み出した最初の一步を示す遺物を認識し、保存する緊急の必要性を反映したものです。私たちの歴史における画期的な瞬間です」とは、同財団の代表兼 CEO のベネディクト・ド・モンタウル氏(Bénédicte de Montlaur)の言です。また NASA のアルテミス計画で、2027 年半ばまでに有人月面ミッションが予定されており、月に関する話題には事欠きません。

今回の月食を見て詠める拙歌を 1 首。

「初秋の^{はつあき} 丑四^{うし}つ時の^{しやくとつしよく} 空^{しよくしん}に見る

赤銅色の 食尽の月 佐藤正光」

(市民文芸短歌入選 吉田恵子選 広報いなざわ 2025 年 1 月号 23 ページ掲載)

駄文と拙歌の後の清涼剤に、最近読んだ本から月に関する秀歌を 1 首ご紹介します。

「秋の夜の つゆの玉だれ ひまをあらみ

もりくるものは 山の端の月 浄通尼」

浄通尼は室町幕府 12 代将軍の足利義晴の母といわれ、江戸時代の「集外三十六歌仙」でただ一人撰ばれた女性とのこと、秋の夜の清らかなひとこまに心が洗われる気がします。



皆既数分前の月

(Nikon COOLPIX P510 自動露出)

新しきウイルスに合う

～この星にホモサピエンスの生命永かれ～ XIV

《ウィズコロナの世界 9 》

森田 登喜子

最近聞いたことです。「コロナに感染して微熱があったけれど、そのまま万博を見てきた」、また「60 代の弟がワクチンを打った翌朝死亡した。その後家族経営の苦勞を負った姉も病死した」。軽症化した COVID-19 の蔓延と後遺症、ワクチンの副反応が社会の底に滞ったまま、すでに 6 年の歳月が過ぎました。コロナ関連で病む人々への支援態勢は整っておらず、持病の発症や体質のせいと個人的不幸にされて社会生活も滞り、さまざまな苦しみの中に取り残された人々がいます。

万事水に流す国民性か、世の中はコロナの禍など忘れたように進んでいます。しかし、まだ禍は終わってはいません。

国内の感染者数の推移 感染者数は、2023 年 5 月に 5 類に移行後の第 9 波から次第に減少して、今年 2 月の第 12 波終了時には 5 類移行前の数値に届きました。しかし、今年 6 月に始まった第 13 波では、ピークが 12 波より高く、減少速度も遅いようです。無症状や軽症の感染者の存在を考慮すると、感染者数は高止まりしていると推測されます¹⁾ (図-1)。愛知県の感染者数も全国と同様の傾向を示しています (表-1)。

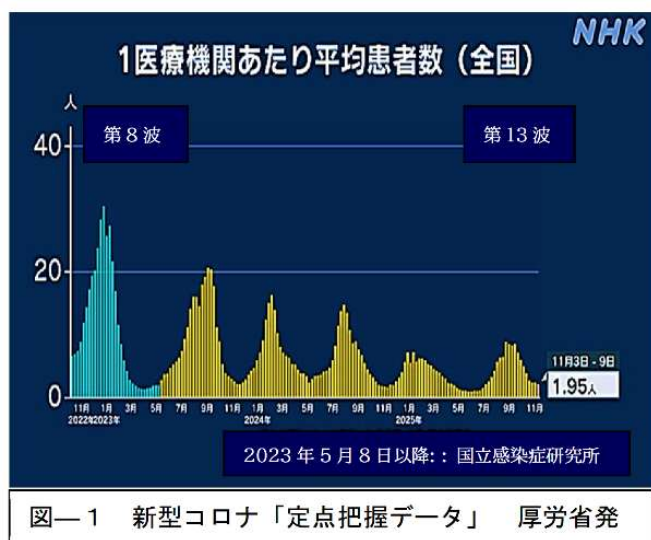


図-1 新型コロナ「定点把握データ」 厚労省発

2025 年 月日	10/21～11/2	10/3～11/9	差
全国定点あたりの報告数 (厚生労働省速報)	2. 28	1. 95	-0. 33
愛知県定点あたりの報告数 (厚生労働省速報)	3. 01	2. 85	-0. 16
1 日の愛知県感染者数 (平均値 × 機関数) 愛知県内機関数 195	587	556	-31
(参考) 2023 年 5 月 8 日 (5 類移行日) 愛知県感染者数	425		
単位 人			
表 1 全国と愛知県の感染者 厚生労働省発表			

死亡者数は減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあります (図-2)。

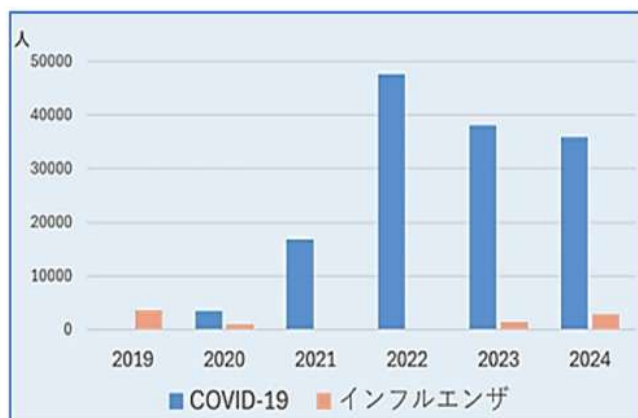


図2 わが国の人口動態統計におけるインフルエンザと COVID-19 による死亡数 2025 年 9 月 1 日 日本感染症学会・日本呼吸器学会・日本ワクチン学会

変異株の推移

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)

は、変異を続けてきました。現在は 2025 年冬に流行していた「オミクロン XEC 株」に代わり、2025 年 1 月に初めて検出された同じオミクロン株系の変異株 NB.1.8.1 (ニンバス) が急速に拡大して世界的主流になっています²⁾ (図-3)。

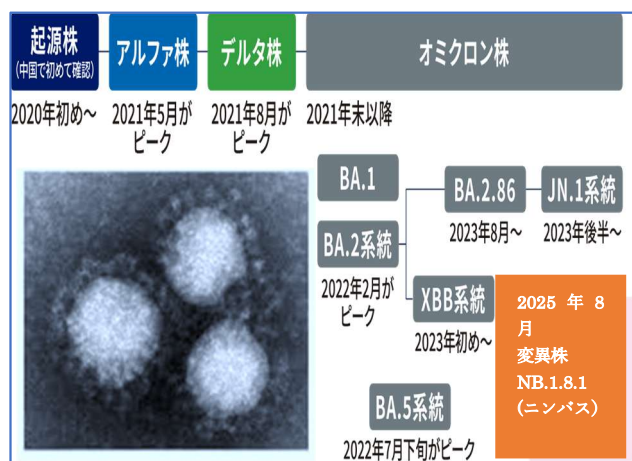


図3 新型コロナウイルス変異経過と現在主流の変異株

ニンバスとは雨雲・雷光などを意味するラテン語で「のどがカミソリで切られるように痛い」というのが特徴です。世界保健機関 (WHO) は 2025 年 5 月 23 日に、この株を「監視下の変異株 (VUM: VARIANT UNDER MONITORING)」に分類しました。「ヒトの細胞への結合力 (侵入の上手さ)」と「免疫からの回避能力 (回避の上手さ)」、つまり罹患しやすく、これまでに得た免疫力 (= ウイルスを中和する抗体の効果) が 30%~40% 程度弱まる可能性があります。しかし、さいわいこれまでのところ他の変異株より重症化リスクが高い傾向は見られていません³⁾。

後遺症 (COVID-19 の罹患後症状 = long COVID)

WHO はこれまで新型コロナウイルス感染者の約 6% に後遺症が発生するとしています。東京都の調査では 2024 年に 23.4%⁴⁾、愛知県では約 60%⁵⁾ でした。調査方法が異なるとはいえ、この結果の差はどの

ように説明されるのでしょうか。パンデミックが終わっても COVID-19 は継続しています。経過を俯瞰するのは容易ではありませんが、今後も予想されるパンデミックに備えて、できるだけ厳密な COVID-19 の調査結果が残される必要があります。

なお、臨床現場で COVID-19 の医療に当たっている大阪大学の忽那賢志教授は、パンデミック後に起きている種々の感染症増加の原因について、「免疫負債*1」と「免疫損傷*2」という二つの見方があると紹介しています^{6,7,8)}。免疫系に変化が生じているのならば、それは看過できない問題です。さらに研究が進むことが願われます。

ワクチン接種と副反応

10 月 1 日から 65 歳以上あるいは 60 歳~64 歳の心臓や腎臓、呼吸器の機能およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害ある人を対象に新型コロナワクチンの定期接種が始まりました。厚生労働省は、「感染者で多く検出されている NB.1.8.1 (ニンバス株) にも効果が期待される」と但し書きを付けました⁹⁾。

2025 年 9 月 1 日一般社団法人日本感染症学会、一般社団法人日本呼吸器学会、日本ワクチン学会は「2025 年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解」において新型コロナワクチンの定期接種を推奨する文書を発表しました¹⁰⁾。巷間言われる死亡率の増加等の副反応は科学的に立証されておらず、ワクチンの重症化予防効果は大きいと告げています。しかし、被接種者数は低下傾向にあります。実際のところ、接種する医師自身の接種割合は、コロナ診療している医師は 62%、診療していない医師は 46% と必ずしも高くなく、学会の呼び掛けも効果が大きくありません¹¹⁾。著者の主治医も「打っていません」と明言しました。ワクチン反対発言は政治家にもあります。SNS 上では経済、軍事などにも絡んだ反対意見も見られ、国民は確信を持って接種を受けるのが難しい状態です。「有料、

個人判断」では、ワクチン接種が必要な人々さえも躊躇う可能性が大きいのではないのでしょうか。国は“誰にどれだけの頻度で接種が必要で、どの医療機関が安全性を担保した対応するのか”をより明確に説明しないと、「安心・安全な接種体制」ができていたとは言えないでしょう。

前号の繰り返しになりますが、ますますグローバル化する世界では、次にあり得るパンデミックへの対策が必須であり、新たな体制作りを急がなければなりません。(2025 年 11 月 15 日記)

※1 免疫負債：パンデミック中の感染対策によって様々な病原体への接触が減り、集団の免疫が一時的に弱まった結果、規制緩和後に感染が広がりやすくなったという、フランスの小児感染症学会が 2021 年に提唱した概念

※2 免疫損傷：新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 自体が、私たちの免疫システムに何らかの変化を引き起こしているという仮説

1)：全国感染者数は各県で決められた定点医療機関が挙げた数値を 1 週間分まとめて、翌週の金曜日に報告されます。数値は定点あたり 1 日の新規感染者数の平均値です。

2)：<https://www.pfizer-covid19.jp/variants> 変異し続ける新型コロナウイルス

3)：<https://www.igakuken.or.jp/r-info/covid-19->

[info279.html](#) 新たなオミクロン派生株 NB.1.8.1；剃刀を飲み込むような喉の痛み

4)：新型コロナ後遺症ポータル 東京都保健医療局

5)：【知事会見】新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状（いわゆる後遺症）実態把握調査結果について - 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト - 愛知県

6)：Immune debt: Recrudescence of disease and confirmation of a contested concept. Infectious Diseases Now (2022)

7)：コロナが我々の免疫を傷つけている？なぜパンデミック後、風邪や他の感染症にかかりやすくなったのか？（忽那賢志） - エキスパート - Yahoo!ニュース

8)：Why scientists are rethinking the immune effects of SARS-CoV-2. BMJ. 2025;390:r1733.

9)：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html 新型コロナワクチンについて | 厚生労働省

10)：https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/news/gakkai/gakkai_covid19_250902. 2025 年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解

11)：<https://www.carenet.com/news/general/carenet/> 2024 年の医師のコロナワクチン、接種する/しないの二極化進む／医師 1,000 人アンケート

四ツ谷用水をさがして (1/2)

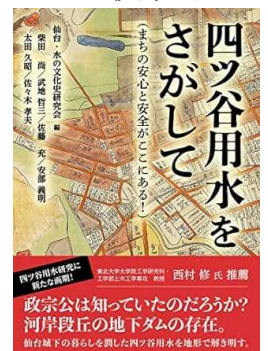
仙台市は東北の商業・経済の中心であり、学術研究の拠点としても発展してきました。さらに「杜の都¹⁾」と言われ、伊達政宗公や青葉城址、仙台七夕まつりなどが有名であり、観光以外にも多面的な魅力を持つ大都市です。

私は転勤先であった仙台市に 22 年間住んでいました。私の人生の壮年期の大半を過ごした愛着のある街が仙台市です。

仙台市には「四ツ谷用水」という土木遺産が存在し、いくつかの市民関連団体は歴史的背景の再評価を研究して周知・継承活動が行われています。

これらの研究成果には佐藤昭典著「もう一つの広瀬川」1985 年などがあり、この集大成として「四ツ谷用水をさがして」が仙台・水の文化史研究会(以下、「研究会」という。)より出版されています。この書籍を読んで四ツ谷用水について 2 回にわたり紹介します。

伊藤 昭彦



城下町と広瀬川 伊達政宗公(以下「政宗公」という。)は広瀬川²⁾を自然の要害とした青葉山に城を築きました。仙台の都心部(城下町)は、青葉城址(標高 120m)から一望できます(写真-1)。城下町は階段状の地形である広瀬川河岸段丘(宮城県庁標高 47m)に発達しました。都心部が広がる河岸段丘と広瀬川水面との間には約 20m の高低差の段丘崖が連続しています。



写真-1 青葉城址から北東方面。宮城県庁など

仙台市の地質と地下水 城下町が位置する広瀬川河岸段丘(図-1)は、堆積岩(不透水層)の上に4~8mの帯水層が堆積しています(図-2)。



図-1 段丘地形図分類図³⁾

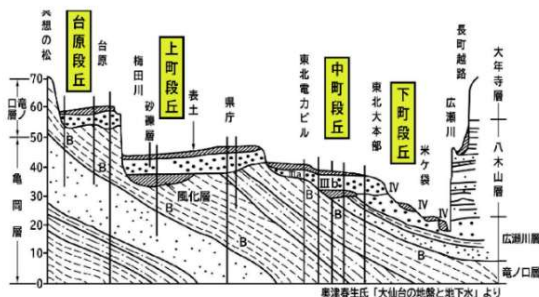


図-2 段丘縦断面図³⁾

城下町には三清水(図-3 赤印)、七清水といわれる多くの湧水が点在していました。



図-3 湧水分布図³⁾

近年、研究会の成果としては、四ツ谷用水の一部の水が発生していたことが明らかにされました(図-4)。多くの湧水は政宗公の城下町5万人の人々の井戸水として利用されました。

また、井戸水利用によって屋敷林が城下町を形成し、仙台市は「杜の都」と呼ばれるようになりました。

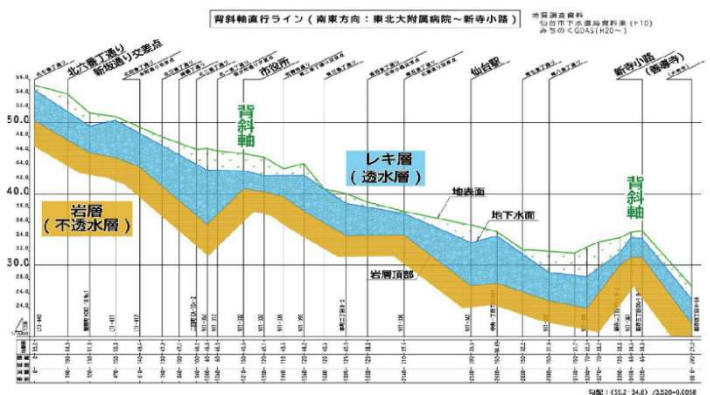
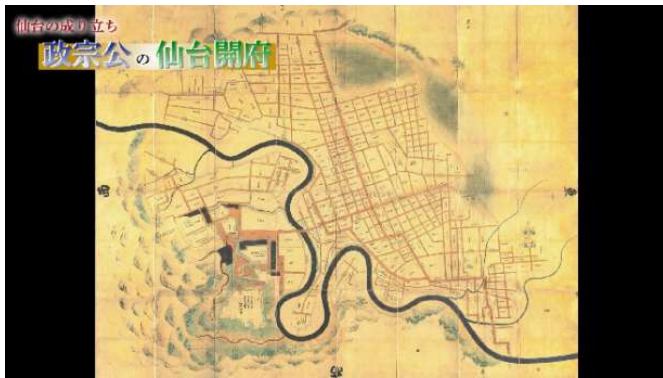


図-4 湧水と背斜軸³⁾

伊達政宗公 政宗公は豊臣秀吉の奥羽仕置きにより岩出山(宮城県大崎市)に移封されていました。1600年、政宗公は関ヶ原の戦いで徳川方につき、仙台に城を築くことを決めました。その選定理由は、青葉山は天然の要塞であること、領国のほぼ中央であること、今の国道4号、6号及び出羽国(山形県と秋田県)からの街道が通る交通の要衝地であること、名取川、広瀬川の舟運が活用できることからといわれています。

政宗公は原野の台地に、地形の勾配を活用した水路を縦横にめぐらせた城下町を建設しました（図－5）。



図－5 仙台開府³⁾

四ツ谷用水 慶長 6 年（1601 年）政宗公は自然の要害とした青葉山に築城し、青葉山の眼前にある広瀬川対岸の河岸段丘地に城下町を建設しました。しかし、城下町は河岸段丘地の高い崖があるために広瀬川から直接水を運ぶことができませんでした。そこで、政宗公は家臣川村孫兵衛重吉⁵⁾に命じて計画・立案・指導した人工河川（用水路）が四ツ谷用水です（図－6）。

四ツ谷用水は、広瀬川上流の現在の「北堰」（東北電力三居沢発電所の取水口）のあたりで「古堰」と呼ばれた場所（図 6－①）から城下町への用水路で、縦横にめぐらされた水路に流下して、生活用水、消火用水、地下水涵養水、農業用水に利用されました。

工事は、四ツ屋堰堀普請奉行として宇津志惣兵衛⁶⁾が任ぜられています。その後、四ツ谷用水は城下町拡張に伴う導水路の延伸が図られ、元禄年間（1688～1703）に完成されました。

四ツ谷用水は広瀬川上流の四ツ谷堰にて取水し、途中隧道⁶⁾や掛け樋⁷⁾で山谷を越え、城下町西端で開渠化（図 6－②、③、④、⑤）して東進し、梅田川（図 6－⑥）に注いで下流域の水田にも水を供給しました。

四ツ谷用水は、開渠化した本流から城下町中心部の三か所で支流が分岐し、城下の要所を縦横に巡らせ、その総延長は約 44km です。この取水システムは、地形を基に自然流下による水の動水勾配を考慮して施設計画されていたことが著書「四ツ谷用水をさがして」⁸⁾に明らかにされています。



図－6 四ツ谷用水ルート平面図⁹⁾に加筆



① 広瀬川から取水する四ツ谷堰



②開口部（青葉区郷六）



③大崎八幡宮太鼓橋



④洗い場跡



⑤支倉堀跡



⑥宝蔵院橋の放流口

写真－2 四ツ谷用水¹⁰⁾

1) 「杜」は江戸時代から仙台の人々が植えてきた屋敷林や街路樹などの人工林を指し、仙台の風土や歴史に立脚しているという説明がなされてきた。

2) 広瀬川の源流は、仙台と山形の境界にそびえる奥羽山脈の関山峠付近にある。仙台市域をほぼ南東方向に流れ、名取川に合流して仙台湾に至る 1 級河川で、主流の長さは約 45km。全流路が仙台市域内で完結する都市内河川である。

3) 宮城の新聞 2025 年 9 月 11 日：

https://shinbun.fanmiyagi.jp/article/article_20220301.php

取材協力 仙台・水の文化史研究会 会長 柴田 尚氏に掲載許諾済

4) 地層となる堆積物が完全に固結する前に、地殻の変動によって横方向に圧縮されると波形に曲がってしまう。これを褶曲^{しゅうきよく}といい、盛り上がった箇所を背斜^{はいしや}と呼ぶ。

5) 天正 3 年（1575 年）、長門国阿武（現、山内県萩市）に生まれる。毛利家に仕えていたが、慶長 6 年（1601 年）伊達家に召し抱えられた。北上川から石

巻河川整備と築港工事を行い、四ツ谷用水や貞山堀を建設した。

6) トンネルのこと。

7) 竹や木を用いた水路橋のこと。

8) 「四ツ谷用水をさがして」仙台・水の文化史研究会 代表者 柴田 尚

9) 四ツ谷用水再発見事業：

<https://www.city.sendai.jp/kankyokehatsu/kurashi/machi/kankyohozen/mizukankyo/hakken/index.html>

10) 仙台市環境局環境部環境共生課を通じて撮影者に掲載許諾済



仙台七夕まつり協賛会 フォトギャラリー

<https://www.sendaitanabata.com/gallery/>

古賀正輔様を偲んで

説田 育正

AECA の会報を第 46 号（2009 年 5 月 4 日発行）から主導してこられた古賀正輔様が 4 月 20 日にお亡くなりになりました。

会報づくりには、会員の活動の正確な情報収集が欠かせません。古賀様は事実上の編集長ですが、そう呼ばれるのは好きではありませんでした。いつも控えめで他の編集委員を立てていました。

会報に毎号どのような記事をどのように組み込んでいくかということは、とても難解な作業です。記事の正確さと内容、関連性、連続性、時節などを考えていかなければなりません。そうでなければ、統一のないバラバラなものになってしまいます。ちょうど、将棋の駒が何の関連もなく盤上に置かれていたら、勝ち目がないのと似ています。そういえば、古賀様は将棋の高位の有段者かつアマチュア将棋で活躍されていまし

た。棋譜を譜（そら）んじておられ、私にはとても及ばない実力です。こういったことが会報編集に活かされていたと思います。第 100 号に「会報ができるまで」の記事が掲載されていますので、ご覧いただければ幸いです。

第 101 号は惜しいことに企画の段階で天国に召されてしまいました。その精神は末永く伝承されていくことでしょう。

将棋の対局で盤上の駒から手が離れば修正できません。会報も発行してしまえば修正できません。まさに「会報づくりは、待ったなし！」です。そして「会報は永遠です」。

古賀正輔様のご冥福をお祈りいたします。

（令和 7 年 7 月 12 日 説田 育正 記）

山川幹子様を偲んで

齊藤 保彦

山川さんの訃報（本年 7 月 9 日逝去）に接し、大変残念に思うとともに、長い間お疲れ様でした、ご指導ありがとうございましたという思いでいっぱいです。

山川さんとは 2000 年初頭に愛知環境カウンセラー協会（AECA）の活動で知り合って以降、役員活動も含めて約 20 数年お世話になりました。

稲沢市の「NPO 法人 稲沢ごみ 0（ゼロ）協議会」事務局長として様々な 3R 活動に携わるとともに、環境省及び愛知県の環境審議会等の委員も歴任されるなど環境行政に貢献されてきました。そのご活躍については、折に触れお話しいただき、勉強させていただきました。

AECA の活動におきましても、理事、副会長、監事を歴任され、協会の発展に長く貢献いただきました。私が会長になってからも副会長としてお力添えいただき、直近 2 年は監事として協会活動を見守っていただきました。

山川さんのことを語るに、私はその凜とした言動が忘れられません。環境カウンセラーかくあるべしと思った次第です。AECA での様々な活動をともにしたこと、お孫さんが出演される音楽イベントに招待いただきお伺いした時のことなど、いろいろな思い出が頭をよぎります。もっともっとお話ししたかったのですが、それが叶わないのは本当に残念でなりません。

心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

(森田 登喜子) コロナ記事 書けばよみがえる 名古屋駅 太閤口まで 見通せた日々

COVID-19 のパンデミックに倒れた人、潰れた店、壊れた人生・・・それでもヒトは今、まるで天災に合ったように諦めて、「早く忘れて立ち直ろう！」とアフターコロナ(?)を生きています。しかし、この禍はまだまだ終わってはいません。

あの時言われた “ゾーニング(棲み分け)” を思い出します。今年は特に、ヒグマ、ツキノワグマ・・・クマに脅えるヒトビトが、地域が続出しています。

(樋口 祐子) 古賀正輔様に続き、山川幹子様がお亡くなりになり、突然のことで驚いています。急に寒くなりました。皆様、どうぞご自愛ください。

(磯貝 はるみ) いつの間にか A I がずいぶん普及し、生活の中にも入ってきました。P C のスキルの乏しい私ですが、職場でも使う機会があり確かに便利です。A I は文章の作成もお上手。でもその文章、やっぱり私の言葉じゃないとボヤくのは私だけでしょうか。

(深谷 百合子) 我が家の月下美人が今年も咲きました。蕾が開き始めると、かぐわしい香りがただよって咲き始めたことを知らせてくれます。朝になるとしぼんでしまう「一夜限りの花」です。花が咲き終わったあとは軽くゆがいて甘酢漬けにして食べることができます。とろみがあっておいしく頂けます。視覚、嗅覚、味覚を楽しませてくれる月下美人。
機会があればぜひ育ててみませんか。

(行本 正雄) 私が環境問題に興味を持ったのは 1995 年に国連大学が提唱した「ゼロエミッション構想」に出会ったのがきっかけでした。これまで環境負荷の少ない資源循環型の経済社会の構築のためにどのような研究開発や製品設計ができるのかを考えて参りました。昨今は SDGs やカーボンニュートラルの重要性が広く認識され、経済や社会や環境がすべて多様に関連しています。私は第 102 号協会報から新任編集委員として関わって頂きます。環境カウンセラー人材の育成、協会員の情報交流などを通じて皆様にもご支援よろしく願いいたします。

(伊藤 昭彦) 名古屋市の猛暑日数は 2023 年から毎年増加し、今年は過去最高の 52 日を記録しました。日本近海は地球温暖化の影響及び地理的位置、並びに黒潮など海流の影響で、海面水温が上昇しました。さらに、北極も温暖化加速により赤道から北極への大気の温度移流が弱くなり、偏西風の大蛇行が発生しました。偏西風は、寒気と暖気の境目に吹いてカーテンのように仕切って南にいと暑いのです。この現象に加えて、暖かい海水は大気を加熱して太平洋高気圧が活発化し、日本の猛暑は南方から北海道全域に及ぶ広範囲に影響し続けました。日本の猛暑の原因は地球全体からの異常気象により発生していたことを理解しました。
来年の夏は偏西風の大蛇行が解消され、猛暑日数が減少することを願わずにはられません。

編集 G より：会報 89 号から電子版(カラー版)のメール配信が標準となりました。紙会報(白黒)の配送を希望の方は
下記奥付の宛先へメールで連絡下さい。みなさまの会報へのご寄稿と会報編集への参加をお待ちしています。

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会報第 102 号
題字は佐藤正光氏揮毫

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会
〒453-0041
名古屋市市中村区本陣通 5-6-1
地域資源長屋なかむら 201

発行 2025 年 11 月 27 日

編集：森田、樋口、野田、磯貝、深谷、行本、伊藤

HP : <https://sites.google.com/site/npoaeca1/>

E-mail : npo.aeca.npo@gmail.com

TEL&FAX : 052-471-7477 (電話は月～金曜)

郵便振替 : 00810-0-118938